

20 大治町年輪ボランティアの会（大治町）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	大治町年輪ボランティアの会
2 事業名	子供の安全推進事業
3 事業実施結果	<p> 本会（通称：ONBの会）は、大治町内の中高年世代を中心に構成されたボランティア団体で、町内の3小学校（大治小学校、大治南小学校、大治西小学校）の子供たちが安心して安全に登下校できるよう、主として登下校時間帯に見守り等の活動を実施しているところである。本年結成14年目を迎えたが、今回の事業では更なるパトロールの強化等を通じて、犯罪のない安心・安全な明るいまちづくりの推進に取り組んだ。 </p> <p> 1 パトロール体制の強化（A事業） </p> <p> （1）結成当時から使用していたパトロール資材（帽子・ベスト）は、永年の使用により劣化が目立ってきたことから、今回50着新調し、減耗補充や新規会員用として整備を図った。 </p> <p> また、新たにホイッスルを導入し、登下校の見守り活動時の不審者対策などに活用して、パトロールの強化を図った。 </p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p style="text-align: right;">帽子とベスト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;">   </div> <p style="text-align: center;">見守り・付添い活動の状況</p>

- (2) 会員が買い物等で外出する際、前かご前面に「防犯パトロール中」の表示板を付けた自転車を使用し、自主的に防犯パトロールを実施しているが、新たに表示板を100部作成し、児童の父兄等にも装着を呼びかけるなど、希望者に配布して防犯パトロールの強化、習慣化を図った。



表示板と表示板を取り付けた自転車の状況

- (3) 2学期当初の1週間（9月3日～7日）を危険箇所点検週間として取り組み、先の大阪北部地震（本年6月18日発生）でブロック塀の倒壊により児童の犠牲者が出たことから、登下校時の見守り活動にあわせて危険なブロック塀は無いかを中心に点検を行った。

- (4) 子どもを犯罪から守る防犯の合い言葉『知らない人に声をかけられてもついていかない「つみきおに」』の立て看板を、津島警察・役場と連携し、各小学校の門周辺フェンスに設置した。また、「5つのおやくそく（裏面は、「こどもたちの安全は家庭と地域のスクラムで」）と題するチラシを、冬休み前に全児童に配布し、家庭を巻き込んだ防犯意識の高揚に努めた。



立て看板設置状況



全児童に配布したチラシ
(両面印刷)

2 防犯啓発・人材育成活動の実施（B事業）

- (1) 8月13日及び11月26日の両日、午前10時から概ね1時間、愛知県海部県民センター、津島警察及び役場と連携し、人が多く集まるアオキスーパー大治店前で街頭啓発キャンペーンを実施、買い物客に啓発品を配布しながら、侵入盗被害対策等と呼びかけるとともに、会員の募集活動をあわせて実施した。



キャンペーン活動の状況

(2) 小学校及びPTA関係者との意見交換会を開催(9月27日大治西小学校、10月1日大治小学校、10月4日大治南小学校)

・登下校時の児童の様子

集合場所でのあいさつの状況等

・防犯、防災・減災の視点にたった通学路点検状況

倒壊のおそれのあるブロック塀や樹木等の確認結果等の情報について三者で共有化を図った。



危険箇所を表記した地図の一部

(3) 会員の資質向上と防犯意識の高揚を図るため、防犯講習会を開催

○10月20日(土) 午前10時から概ね1時間 希望の家で開催

○講師 津島警察署 生活安全係長、地域課主任等

○内容

・子どもの見守り活動、特殊詐欺、侵入盗対策等について講演

・「詐欺よ」等の替え歌を取り入れた特殊詐欺被害・交通事故防止対策の呼びかけ

○参加者 80人



防犯講習会の状況



配布した啓発品等

- (4) あいさつ・声かけは、犯罪の抑止力になることが期待できることから、小学校と連携し、2学期が始まる前に「みんなで広めようあいさつ運動」と表記した横断幕を、各小学校の門周辺のフェンスに掲示し、積極的なあいさつを呼びかけた。

横断幕設置については、各小学校のホームページで紹介され、あいさつの大切さを父兄等にも訴えることができた。

また、住民がよく利用する体育館や防災センターのフェンスにも横断幕を掲示し、「あいさつ・声かけ」意識の高揚に努めた。



小学校、コミュニティセンターフェンスへの設置状況

- (5) 登下校時の見守り活動時に、「みんなでつくろう 安心の街 横断中」と表記した横断旗を全会員が携帯し、視覚に訴える広報に努めた。



横断旗

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組</p>	<p>(1) 事業実施の成果及び課題</p> <p>ア 成果</p> <p>本会の活動は、補助金を受けずに会員相互で知恵を出し合い、会員だけで運営しており、会費を徴収しないため、ベストや帽子の調達は会員からの寄付金でまかなっている。</p> <p>今回の事業で、パトロール用の資材を整備することができ、子ども見守り活動の更なる強化、あいさつ・声かけなどの活動を通じ、犯罪のない安心・安全な明るいまちづくりの推進に寄与できた。</p> <p>イ 課題</p> <p>継続的な活動の秘訣として、「やれる人が やれる日に やれる時間だけ 無理なく」を合い言葉に自発的な活動に努めているが、会員の高齢化に伴い活動可能人員が減少するなか、後継者の確保が困難な状況から活動の空白地域が生じてきている。</p> <p>(2) 今後の取組</p> <p>ア 後継者の確保、人材の育成に努める。</p> <p>イ 学校やPTA関係者との交流を深めるとともに、行政や警察との連携を強化していく。</p>
---------------------------------	---